

やれなかった やらなかった

私は「難しい」という言葉を使わないように心掛けています。なぜなら、難しいことを理由にしまえば、「できなかったのは難しかったからで、自分に原因はない。自分は悪くない。」と考えてしまい、自分自身を省みることがしなくなるからです。

みなさんはテストの結果が悪かったとき、「難しかったから仕方がない」と言っていますか。その問題は本当に難しかったのでしょうか。自分の勉強不足は棚に上げ、自分自身を省みることから逃げていませんか。

期末テストはあと2日あります。今の自分ができる最大限の努力、圧倒的な努力をしましょう。できなかった問題があったときに、「難しい」ではなく「できなくて悔しい」と言えるように。



知識→判断→行動(自分のものさし, 相手のものさし)

私たちが物事を判断するとき、自分のもっている価値観で判断することが多いです。

「自分の価値観」を「自分のものさし」と表現することもあります。

「価値観」は、経験や学ぶことで得られた知識によってつくられると思います。

知識の量は、経験した数や学んだ量によって違います。よって、物事に対する判断も人によって違いがでます。

豊富な知識があれば、物事を数多くの知識を用いて判断することができ、いろいろな角度から物事を捉えることができます。一方、少ない知識からでは、物事を一方向でしか捉えられないことがあります。

自分の経験や学ぶことで得られた知識からでしか判断できないからこそ、物事に対してじっくりと考えて判断したり、

「他人の価値観はどうだろうか」と考えたりする必要があります。そして、豊富な知識を得るために体験すること、学ぶこと、本を読むことなどの機会を増やしていくことが大切だと思います。

先週の学年弁論大会で六人の弁士が述べた弁論は、他人の価値観を知ることや自分の価値観と比較することができた良い機会になったと思います。



<各学級代表弁士及び演題紹介>

- | | | |
|----|-------|-----------------|
| 1組 | 柿内和華 | 「未来を決める私たちの一票」 |
| 2組 | 中島知希 | 「先輩と後輩」 |
| 3組 | 牟禮ころも | 「明日に向かって」 |
| 4組 | 中野瑠紀 | 「本当のつながり」 |
| 5組 | 池田唯花 | 「人のために私達が出来ること」 |
| 6組 | 浅谷昊樹 | 「有言実行」 |